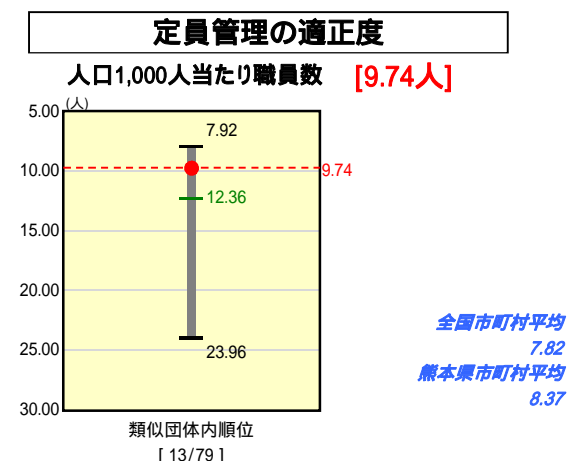
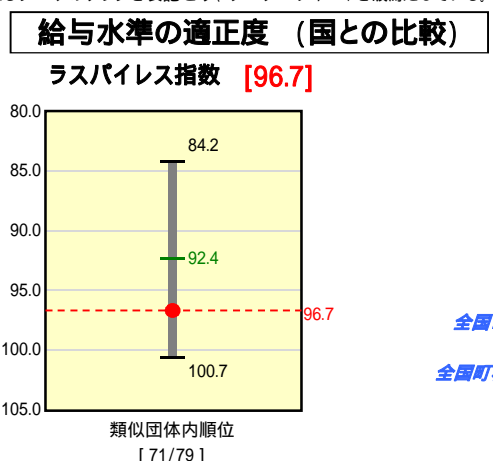
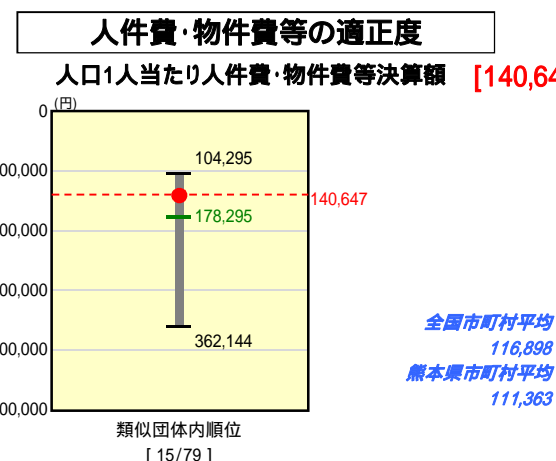
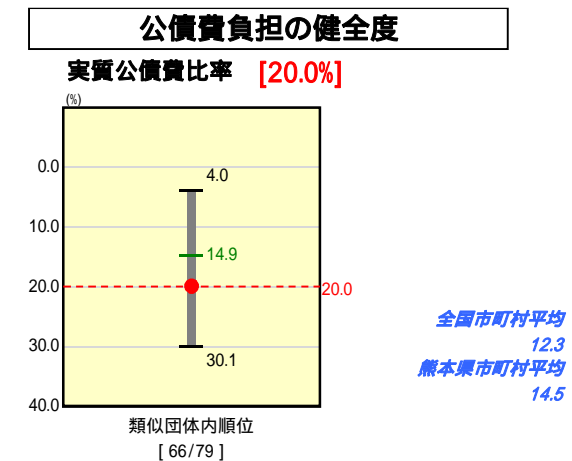
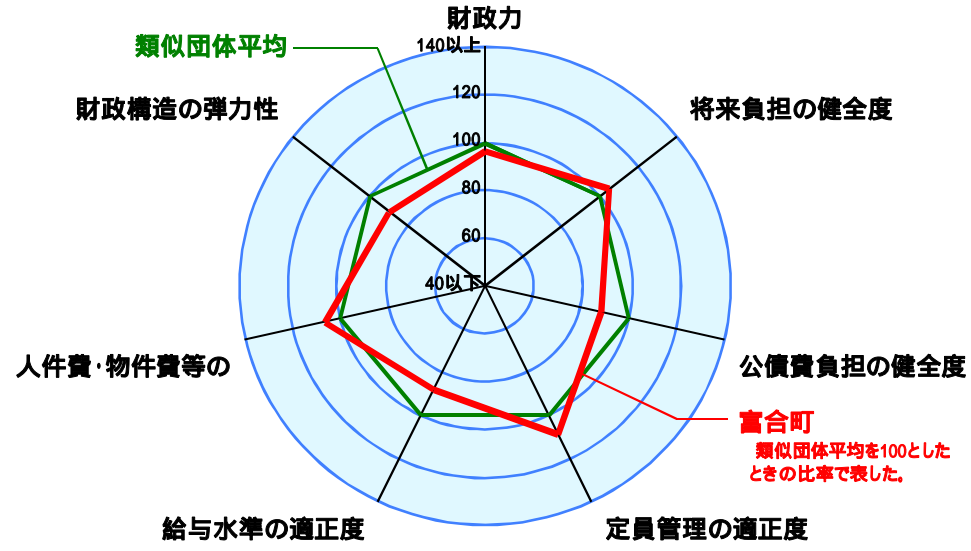
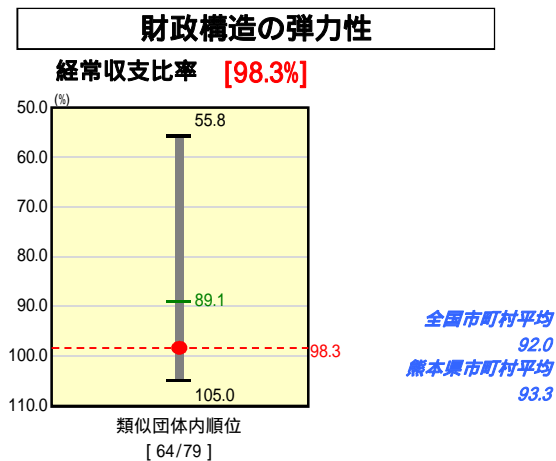
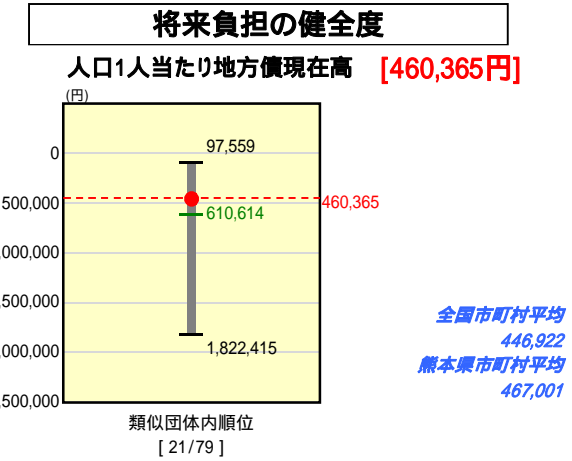
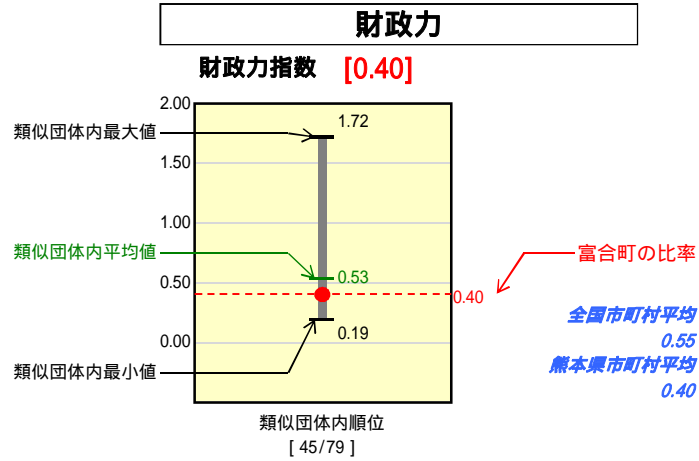


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 熊本県 富合町

人口	8,008人	(H20.3.31現在)
面積	19.59	km <sup>2</sup>
歳入総額	4,109,773	千円
歳出総額	4,005,632	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**：前年度に引き続き上昇しており0.40となっている。熊本県市町村平均値と同水準であるものの、全国市町村平均及び類似団体平均が高水準で推移しているため、依然としてこれらの水準を下回っている状況にある。  
**経常収支比率**：前年度と比して3.4%上昇し、98.3%となっている。全国市町村平均、熊本県市町村平均及び類似団体平均を大きく上回っており、公債費の増加に対し、普通交付税及び臨時財政対策債が減少している状況にあり、財政の硬直化傾向にあると言える。  
**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**：前年度同様、類似団体と比較して平均を下回っているものの、全国市町村平均、熊本県市町村平均及び類似団体平均が横ばいし微増となっているのに対し、合併による基幹電算システム改修費用の増等により、本町の水準は上昇(+11,842円)しており、類似団体平均との差が縮小している。

**人口1人当たり地方債現在高**：前年度に引き続き減少している。平成19年度は、元金償還額399,367千円に対し、177,052千円を借入れており、前年度と比較して地方債残高が222,315千円減少、人口1人当たり地方債残高も減少となり、全国市町村平均を上回っているものの、熊本県市町村平均及び類似団体平均を下回った。総合文化センター建設事業(平成12年度～14年度)の借入に係る償還の影響等により、平成19年度が償還のピークとなっており、今後、減少していく見込みである。  
**実質公債費比率**：前年度と比して0.2%上昇し、20.0%となっている。全国市町村平均、熊本県市町村平均及び類似団体平均を大きく上回っているが、これは人口1人当たり地方債現在高の分析と同様に、平成19年度に総合文化センター建設事業分の償還がピークを迎えることが主な要因である。  
**ラスパイレス指数**：全国町村平均及び類似団体平均を上回っている状況である。  
**人口1,000人当たりの職員数**：類似団体内では上位に位置するものの、全国市町村平均及び熊本県市町村平均には及んでいない状況である。